

平成22年度 事業報告書の概要

1. 法人の概要

○法人名

八商学園

○設置する学校・学部・学科等

(1) 中九州短期大学

A 経営福祉学科

① 情報・ビジネスコース

② 介護福祉士コース

B 幼児保育学科

① 保育総合コース

② こども心理コース

(2) 秀岳館高等学校

A 普通科

① 特進コース

② 進学コース

③ 総合コース

④ 保健福祉コース

B 商業科

① トータルデザインコース

② 情報ビジネスコース

C 建設工業科

① テクニカルコース

② クラフトコース

○学部・学科等の入学定員・学生数の状況

(1) 中九州短期大学

学科	入学定員	収容定員	在籍数 (平成22年5月1日現在)
経営福祉	50 人	100 人	122 人
幼児保育	80	160	151
計	130	260	273

(2) 秀岳館高等学校

学科	入学定員	収容定員	在籍数 (平成22年5月1日現在)
普通	240 人	720 人	802 人
商業	60	180	160
建設工業	100	300	176
計	400	1,200	1,138

総在籍数

1,411 人

○役員・教職員の概要（平成22年5月1日現在）

(1) 役員（理事・監事）

役員数							
理事 号	選任区分	定数	現員	監 事	選任区分	定数	現員
	寄附行為第6条 第1項第1号・2 号	1	1		寄附行為第7条第1項	2	2
	3号	2～3	3				
	4号	2～4	3				
	計	5～8	7		計	2	2

(2) 評議員

評議員数		
選任区分	定数	現員
寄附行為第21条第1項第1号	5～7	5
2号	2～4	4
3号・4	1	1
5号	7～10	9
計	15～22	19

(3) 教員

中九州短期大学

区分	専任					兼任	計
	教授	准教授	講師	助教	計		
経営福祉学科	3	1	2	1	7	8	15
幼児保育学科	4	1	3	4	12	13	25
計	7	2	5	5	19	21	40

秀岳館高等学校

専任						兼任	計
校長	副校長	教頭	教諭	その他	計		
1	1	1	17	44	64	3	67

(4) 職員

	常勤職員	非常勤職員	合計
中九州短期大学	10	1	11
秀岳館高等学校	7	9	16
合計	17	10	27

2. 事業の概要

○中九州短期大学

- ・図書館の書籍を保管するため、新たに書庫を建設し平成22年8月に完成した。

○秀岳館高等学校

- ・サッカーグラウンドの整備

これまで他の部活動と共有したり他施設にて練習していたサッカー部は、部員数も100名を超え専用グラウンド設置が緊急課題となっておりました。このたび地権者並びに地域の方々のご理解とご協力により、全国でも有数な全面人工芝を使用したサッカー専用グラウンドが完成致しました。高校で設置するのは南九州で初めてです。サッカーコート、キッズサッカー用コート、フットサルコートを備えています。敷地内(面積は13,744㎡あります。)に管理棟(ミーティング室、更衣室、倉庫、シャワー室)、トイレ、駐車場(80台収容)を完備しています。

- ・耐震補強工事

2号館の建物を調査した結果、数値が基準値に満たなかったため、補強工事を行い平成22年9月に完了致しました。

- ・太陽光発電設備工事

CO2の削減対策並びに教育向上及び経費削減のため、太陽光発電の施設設置を行い平成23年2月完成致しました。皎々館(武道場)と2号館の屋上に太陽パネル426枚を設置し1日最大80kwを発電します。玄関ホールと正門横にパネルを設置して、生徒や地域の方々に発電状況を示し啓発を行っています。

- ・女子寮増築工事

既存の寮に収容できなくなったため、24名収容できる部屋を校舎の一部を改造し、平成23年3月完成致しました。又、女子専用浴室(7~8名同時入浴可)も設置致しました。

(1) 当該年度の事業の概要

平成22年度事業報告書

【中九州短期大学】

月	日	摘 要	月	日	摘 要		
4	1	始業 現預金監査(公認会計士)	6	12	保護者会研修旅行(13日迄・福岡方面)		
	5	1年生オリエンテーション(午前) 2年生オリエンテーション(午後)		13	日商簿記検定試験		
	6	入学式(10:30AM開式・八代ハーモニーホール) 幼保78名・経福46名・計124名入学		15	地鎮祭(図書館書庫建設のため)		
	7	前期講義開始		16	熊本地区進学ガイダンス 慶誠高校進学ガイダンス		
	8	献血、X線撮影、尿検査		21	教育実習(幼2年、26日迄) 野田女子高校進学ガイダンス		
	12	内科検診		24	日本語特別講座開始(留学生のため)		
	13	広報活動開始		26	熊本県私立大学協会親善ボウリング大会		
	14	内科検診		7	1	経営福祉学科(実習前説明会)	
	16	内科検診 保護者会会計監査・役員会(7:00PM本学にて)			3	月曜日補講(全学)	
	21	松橋地区進学ガイダンス 人吉地区進学ガイダンス			6	城北高校進学ガイダンス 熊本国府高校進学ガイダンス	
	28	全学学外研修			10	七夕祭り・オープンキャンパス	
	5	8			保護者会、教育進路面談・総会・役員会・新旧役員会	15	経営福祉学科(実習前説明会)
		11			創立記念日	17	金曜日補講(幼2)
		12			進学ガイダンス(熊本)	23	全学一斉清掃
		14			特待生辞令交付	24	オープンキャンパス
		15			簿記特別講座開始	27	多良木高校進学ガイダンス 前期講義終了
		17			ボランティア講座(幼保)	28	前期定期試験(30日迄)
18		平成21年度会計公認会計士監査(5/19迄)	8	2	夏期休暇(9/14迄)		
21		熊本県私立大学協会協議会		5	成績発表		
22	火曜日補講(幼2)	6		追・再試験(8/7迄)			
24	平成21年度会計内部監査	7		くま川祭り参加			
27	学園理事会・評議員会(八代ロイヤルホテルにて)	16		介護実習ⅡB(9/3迄) 税理事務実習(8/27迄)			
28	新入生歓迎スポーツ大会	21		オープンキャンパス			
6	3	幼稚園実習説明会		23	訪問介護員2級実習(2年8/27迄)		
	4	くま川会会計監査 くま川会総会 学内一斉清掃		25	図書館書庫完成引渡し		
	5	水曜日補講日(全学)	30	保育実習Ⅱ・Ⅲ(保育所・施設幼2、9/11迄) 介護実習ⅠA(1年9/10迄)			
	7	神村学園進学ガイダンス	9	2	養成施設等指導調査(九州厚生局)		
	12	木曜日補講(幼2)		4	AO入試(一次)		
				7	消防設備点検		

月	日	摘 要	月	日	摘 要
9	11	保護者会教育進路面談・役員会・交流会	1	4	仕事始め
	15	後期講義開始 月曜日補講(全学)		11	講義再開
	22	くま川会役員会		12	消防避難訓練
	25	授業開放・月曜日補講(全学)		13	教職員研修会
	30	前期卒業証書授与式		21	後期講義終了(幼1.経1年) 後期定期試験(幼1.経1年:1/25迄)
10	2	AO入試 全国大学音楽教育学会九州地区学会会場(10/3迄)		22	保護者会役員会
	3	学園祭スペシャルライブin加藤ミリヤ	2	1	一次試験・社会人入試選考
	4	介護実習 I B説明会		2	成績発表(幼1年・経1年)
	8	海外研修第1回説明会		3	追・再試験(経1・2年 3日迄)
	15	全国エイサー大会出場(沖縄市:10/16~17)		4	後期講義終了(経2年)
	27	熊本県私立大学協会研修会		5	後期定期試験(経2年)
	30	ざぼん祭(31日迄)		7	保育実習(幼1年 19日迄) 介護実習 II A実習(介1年.25日迄) 福祉用具専門相談員講座(2/12迄) 2/1入試合格発表
11	6	一次推薦・指定校・社会人・奨学生 選考		9	多良木高校進学ガイダンス
	8	介護実習 II B実習(2年.11/19迄) 「おさかな教室」(幼保2年.不知火漁協)		10	後期講義終了(幼2年) くま川会交流会
	11	11/6入試合格発表		12	後期定期試験(幼2年)
	15	教育実習(12/7迄) 会計監査		17	介護福祉士養成施設卒業時試験(介2年)
	18	税務講話(全経福対象.八代税務署)		18	成績発表(幼2年.経2年)
	20	公開講座開催		19	追・再試験(幼2年.経2年 21日迄)
	21	日商簿記検定試験		28	卒業判定会議 保育実習 I (保育所・施設幼1年:3/12迄)
	27	公開講座開催 「介護の日」イベント参加(28日迄) くま川会研修旅行(29日迄)			
	29	課題研究発表会(介1年)	3	1	追・再試験成績発表(幼2年.経2年)
	30	八代農業高校 進学ガイダンス		2	二次試験・社会人入試選考
12	3	オーストラリア海外研修(学生2名参加.12/16迄)		7	3/2二次試験合格発表
	6	職場体験受入(10日迄) 全国統一模擬試験(介護2年)		14	鎮西高校進学ガイダンス
	11	二次推薦・社会人入試選考		16	八代東高校進学ガイダンス 南稜高校進学ガイダンス
	14	会計監査(中間)		17	学位記授与式リハーサル
	16	12/11入試合格発表		18	学位記授与式
	17	内部監査(中間)		25	入学前オリエンテーション
	24	冬期休暇		28	理事会・評議員会(八代ロイヤルホテルにて)
	28	仕事納め		31	終業

(1) 当該年度の事業の概要

平成22年度 事業報告書

秀岳館高等学校

月	日	事業内容	月	日	事業内容
4	1	新任辞令交付、学園現金預金監査(公認会	9	16	就職試験開始
	8	計士)		17	2号館耐震補強工事完了検査
	9	新任式・始業式		25	体育大会
	12	入学式(400名、八代厚生会館)	10	4	日奈久中・長陽中説明会
	13	臨時保護者会総会(就学支援金説明)		7	八代一中・千丁中説明会
		新入生オリエンテーション(~14日)、個		8	天草郡市合同説明会
	14	人・クラ		14	公認会計士監査
	15	ス写真撮影、心電図検査(1年)		15	竜北中説明会
		中学校別写真撮影		19	八代二中説明会
	19	尿検査(全職員、全校生徒)、2・3年生ク		21	東陽中・氷川中・富合中説明会
	20	ラス写真		22	秀岳祭(発表・展示・マーケット)(~24日)
	21	撮影		26	八代五中説明会
	26	身体測定(全学年)		28	松橋中・網田中説明会
	27	歯科検診(全校生徒)		29	鏡中説明会
	28	身体測定(~23日)	11	2	八代三中・鶴城中説明会
	30	結核検診(1年)		3	サッカーグラウンド竣工式、飛鳥Ⅱ出港セレモニ
5	7	性教育講話(3年)		4	一参加
	9	ボランティアPウォーク参加		4	(八代外港)
	10	サッカーグラウンド整地・整備:業者と契		5	住吉中説明会
		約、2号		9	豊野中説明会、太陽光発電補助金説明会(県庁)
	11	館耐震補強工事:業者と契約		11	不知火中・下城南中説明会
		内科検診(~13日)			三角中・小川中説明会、私立高校入試合同説明
	14	創立88周年記念行事(市総合体育館)			会(火の国ハイ)
	18	心電図検査、職員検診		12	天草ふれ愛コンサート(松島アロマ)
		決算監査(公認会計士)~19日		14	あしながPウォーク参加
	24	決算監査(学園監事)		15	公認会計士監査
	25	内科検診		18	サッカーグラウンド地籍調査
	27	理事会・評議員会		20	第十三回秀岳館高校「ふれ愛まつり」
	28	県高校総合体育大会、文化祭(~5/31)		23	八代妙見祭参加(鉄砲・毛槍・飾馬)
6	3	眼科検診		25	坂本中説明会
	4	2年生性教育講話		26	松橋ふれ愛コンサート(ウイングまつばせ)
	7	サッカーグラウンド整地・整備地鎮祭		29	宇城地区学校説明会
	8	内科検診(~9,17,22,23日)	12	30	サッカーグラウンド使用開始
	18	1年生性教育講話		3	特進海外ホームステイ(~16)
	24	保護者会総会(就学支援金説明)		6	2学年職場体験学習(~10日)
7	2	大野中説明会、保護者会視察研修(~3日)		14	公認会計士中間監査
	6	田浦中説明会		17	学園監事中間監査
	9	八代七中説明会		24	2学期終業式
	12	二見中説明会		28	御用納め
	13	職員内科検診、クラスマッチ(~15日)	1	4	御用始め
	16	一学期終業式		5	貯水槽・受水槽清掃作業、2号館防水工事
	17	2号館耐震補強工事開始			太陽光発電設備設置工事(~2/20)
		一日体験入学			

8	2 9	私学一斉研修(生徒指導)	2	1 1	3学期始業式
	2	八代くま川まつり「総踊り」参加		1 3	特別推薦・推薦専願生願書受付(～24日)
	7	人権同和教育校全員研修、3年生二者面談(～12日)		1 5	センター試験(～16日)
	1 0			2 1	大阪・奄美・沖縄入試
	2 4	2号館耐震補強工事検査		2 5	特別推薦・推薦専願生入試
	2 6	二学期始業式、太陽光発電整備調査		2 7	特別推薦・推薦専願生合格発表、公認会計士監査
9	2 7	1年生阿蘇青年の家合宿研修(～3日)、1号館5階防水工事完了	2	2 9	特別推薦・推薦専願生入学手続(～30)
	1			7	2学年修学旅行(～11日)、併願入学願書受付(～16日)
	4	2号館耐震補強工事完了		1 7	併願生入試
	7	C3-2美容体験学習		1 8	併願生入試
	9	新エネルギー説明会(太陽光発電)		2 2	太陽光発電通電式(13:28通電)
	1 4	公認会計士監査		2 3	併願生合格発表

月	日	事業内容	月	日	事業内容
3	1	22年度卒業証書授与式			
	2	2号館塗装工事(耐震補強工事関連、～8日)			
	1 2	「東日本大震災」義援金街頭募金活動(～13日)			
	1 6	併願生第二回目入学手続き(～17日)			
	1 7	二次入試			
	1 9	23年度入学生の入学説明会			
	2 4	退任式・修了式			
	2 5	「東日本大震災」義援金募金チャリティーコンサート(八代厚生会館)			
	2 8	学園理事会・評議員会			
	3 1	22年度事業終了			

平成22年度事業報告書

【中九州短期大学 経営福祉学科】

学科運営方針（平成22年度）

目的 経営福祉学科では、経営や情報および介護・福祉に関する専門的知識・技能を授け、職業人として最も基本となる人間性を育み、地域に根ざした企業人および介護福祉士として社会的貢献を通じて地域の活性化に資する人材の育成を使命とする。

平成22年度の取り組み

◎情報・ビジネスコース

以下の日程で特別講義を実施した。

平成22年 5月24日～6月11日	春季 日商簿記検定特別講座
平成22年 9月6日～9月10日	夏季 日商簿記検定特別講座
平成22年 8月16日～8月27日	ITパスポート試験特別講座
平成22年 10月25日～11月19日	秋季 日商簿記検定特別講座
平成23年 2月10日～3月11日	ITパスポート試験特別講座
平成23年 2月10日～2月18日	冬季 日商簿記検定特別講座

特記事項

平成22年6月より日本語特別講座を行い、日本語能力試験を3人の中国留学生在が受験し、全員合格（1級2名、2級1名）した。

今後は、留学生の熱意によっては、日本留学試験（センター試験レベル）、J・TEST（ビジネス日本語）も視野にいれて指導していく必要がある。

◎介護福祉士コース

1) 介護福祉士養成に関すること

I.1 年生

期日	項目	対象
平成22年7月15日	介護実習ⅠA 事前説明会	実習先事業所（通所介護・訪問介護）及び学生
平成22年8月28日	介護実習ⅠA 実習前指導	学生
平成22年8月30日～9月10日	介護実習ⅠA 実習	学生
平成22年9月4日	介護実習ⅠA 中間指導	学生
平成22年11月29日	課題研究発表会（ⅠA）	学生
平成23年1月13日	介護実習ⅡA 事前説明会	実習先施設（介護老人保健施設・特別養護老人ホーム）及び学生
平成23年2月5日	介護実習ⅡA 実習前指導	学生
平成23年2月7日～2月25日	介護実習ⅡA 実習	学生
平成23年2月12日	介護実習ⅡA 中間指導	学生

Ⅱ.2 年生

期日	項目	対象
平成 22 年 5 月 24 日	課題研究発表会 (ⅠB)	実習先施設及び学生
平成 22 年 7 月 1 日	介護実習ⅡB 事前説明会	実習先施設 (介護老人保健施設・特別養護老人ホーム) 及び学生
平成 22 年 8 月 13 日	介護実習ⅡB 実習前指導	学生
平成 22 年 8 月 16 日～9 月 3 日	介護実習ⅡB 実習	学生
平成 22 年 8 月 28 日	介護実習ⅡB 中間指導	学生
平成 22 年 10 月 4 日	介護実習ⅡB 事前説明会	実習先事業所 (障害者施設、グループホームほか) 及び学生
平成 22 年 10 月 18 日	課題研究発表会 (ⅡB)	実習先施設及び学生
平成 22 年 11 月 8 日～19 日	介護実習ⅠB 実習	学生
平成 22 年 11 月 13 日	介護実習ⅠB 中間指導	学生
平成 22 年 12 月 20 日	課題研究発表会 (ⅠB)	学生

2) 訪問介護員 2 級に関すること

実施期間：平成 22 年 4 月 11 日～平成 22 年 9 月 30 日

実習期間：平成 22 年 8 月 23 日～8 月 27 日

3) 福祉用具専門相談員に関すること

実施期間：平成 23 年 2 月 7 日～2 月 12 日

4) 普通救命講習に関すること

実施日：平成 23 年 3 月 9 日

5) 資格試験に関すること (資格取得者のみ)

- ・介護福祉士全国統一模擬試験 実施日：平成 22 年 12 月 6 日
- ・介護福祉士卒業時共通試験 実施日：平成 23 年 2 月 17 日

6) 学外活動

1 年生：平成 23 年 2 月 17 日 九州農政局主催「食育フォーマル」壇上発表

2 年生：平成 22 年 11 月 27.28 日 熊本県主催「介護の日」壇上発表

特記事項

※二期生の主な就職先は、高齢者施設 (すずらんの里、安寿の里、行楽園、向春苑、青海苑、さくらの丘、皇寿園等)、障害者施設 (朋暁苑)、居宅介護 (郷)、病院 (国立大牟田病院) となっている。また、資格が取れない学生も、ほぼ就職が決定している。

学科運営方針

目的 幼児保育学科においては、保育に携わる教養や専門的な知識を習得させ保育士・幼稚園教諭として最も基本となる人間性を育み、社会的貢献を通じて地域社会の発展に貢献する人材を育成することを目的とする。

平成22年度の取り組み

建学の精神である「師弟の和熟」に基づき学科の運営・充実を図るために次のような取り組みをした。

1. 実習指導室の充実

平成21年度から設置した実習指導室で、学生たちが活用しやすい環境を整える努力をした。保育実習（保育所・施設）や教育実習（幼稚園）指導のために実習担当者が出来る限り常駐して、それぞれの学生のニーズに合った実習前・実習後の指導や対応を行った。実習先から入手した資料や先輩たちが残してくれた実習記録などの保存とその活用を研究し学生が必要な時に閲覧できるよう工夫した。

平成22年9月には地元の保育園に出向き観察実習を実施した。学生たちにとって初めての実習体験となり本実習への導入として有意義な活動となった。地域の子どもたちとの交流の場や、キャリアスタディの学びへと発展するなど貴重な体験となった。

2. 多様な学生に対する支援**1) 聴覚障害学生の受け入れに伴う学習支援**

平成21年4月に入学した聴覚障害学生の情報保障のために、幼児保育学科の教員および学習支援センターとの連携により学習支援体制が出来上がった。科目担当教員は前もってわかりやすい資料を作成し学生へ提供するなど授業方法の工夫をした。また、手話通訳士によるサポートやノートテイク・パソコンノートテイク等のボランティア学生による情報提供が出来た。聴覚障害学生は、この支援のおかげで免許・資格を取得して卒業が出来たことに感謝をしている。

2) 心の病気や人間関係で病む学生への支援

入学前・入学後に人間関係で悩む学生が増えている。そのために、ゼミ担当教員と学習支援センターとの連携を行い、学生相談をとおして学習や生活面において出来る限りの支援を行った。平成22年度4月に臨床心理士の資格を取得された専任教員を迎え、より専門的な学生へのサポートが可能となった。

3. カリキュラムの改善

教職免許（幼稚園）に関して平成22年度入学生より「教職実践演習（幼稚園）」の科目が新設となった。これに伴い教職に関する科目の「履修カルテ」をふまえ指導を行う体制を備えることが必要となった。履修カルテの活用方法は検討しているところである。

法改正に伴い、平成23年度入学生から教科目及び単位数並びに履修方法の一部が改正となった。そのために指定保育士養成施設の学則変更に関する申請書を作成した。10月末に九州厚生局に書類を提出し、平成23年3月には課程認定証が届いている。

1. 教育方針

「秀でた四方の山々が天空を仰ぐ名山の如く、大地にしっかり根を張り、文武両道を兼ね備え、機知機略に富む感性豊かな人材の育成」という教育理念を基に、全力を結集して最高の闘志を抱き、全てにチャレンジして行く生徒の育成を主眼とする。

2. 教育努力目標

以下の目標を掲げ、教職員が共同理解のもとに努めました。

- 礼節を重んじ遵法の心を養い、調和のとれた心身ともに健全な青少年の育成に努める。
- 能動的な研修意欲に富む教師となる。
 - ①秀岳館高校に学びよかったと誇りに思う生徒。
 - ②秀岳館高校の教師としてよろこびとビジョンをもつ教師。
 - ③秀岳館高校を守り育て発展させようという地域の願い。
(理事会・評議員会・保護者会・同窓会)
 - ④世界の視点に立ち、国家、社会の教育に対する要請。
(教育の動向・国際的展望)

3. 教育実践の具現化

次のことを目標に掲げ、生徒の資質向上と個々の技能発掘を目指しました。

『創造性に富む日々研修』

教育実践の具現化を達成するために、「生き方を学びあう教育の創造」として、次の10項目を掲げて教育を行いました。

- ①礼節と対話（基本的行動の習慣性）
 - ◎挨拶……一言対話
 - ◎友愛……相手の思い
(優しさは対話力)
- ②イベントプロジェクトの重視
[広目の心で多聞し持続・増長] ……怒るな叱れ ◎個の理解… 個性重視の原則
◎動機探り… 説得力
- ③人権学習の重視
 - ◎人権・同和教育… 生涯学習
 - ◎個性の尊重 …… 人権学習
- ④教育環境の整備・充実（クリーンライフの活用）
 - ◎美的感覚の醸成… 服装、マナー
 - ◎自然と共生へのドリーム
- ⑤リフレッシュな教育
 - ◎資格、検定等の取得
 - ◎楽しい授業の開発
 - ◎I・T指導の進化
 - ◎日常英会話の推進—国際交流
- ⑥経営推進（学級・学校）の原点は担任… 動・静・動の論理教師の力量を高める

- 3 学科8コース制の充実・工夫・・・
 - ◎各学級、各学年、各部等の連携強化
 - ◎家庭との信頼関係・・・ 判断力と対話力
 - ◎切磋琢磨
- ⑦インタークラフト部の進取的な実践・・・
 - ◎ランドスケープ・デザイナー
 - ◎地域に貢献できる学校
- ⑧広報活動の充実・・・地域に親しまれる活動（幼・小・中・地域） 生徒主体の活動
- ⑨学寮運営の教育的ビジョン・・・ 細心のケア
- ⑩現在・将来・未来のビジョン（フューチャープラン課の機能）
 - ◎感性の教育・・・ 感動する人間、感化する人間
 - ◎基礎・基本を身につける教育・・・ 型より型へ
 - ◎螺旋型教育・・・ 点、線、面、螺旋
 - ◎社会変革（国際交流）教育的洞察力

4. 経営方針

校訓の「中道を歩み社会有為の材となることを期せよ」をもとに「礼節を重んじ遵法の心を養い、調和のとれた心身ともに健全な青少年の育成に努める。」ことを教育努力目標に、

- 1 実践三綱領
 - ①礼節・・・敬天愛人の道を深める（徳）
 - ②真理・・・温故知新の学理を深める（知）
 - ③剛健・・・剛毅木訥の人となる（体）
- 2 目指す学校像
 - ①マインド（心、意識、理性）に溢れる・・・授業・イベント
 - ②優しさを基本とする（六感の自覚）～個性開花～
 - ③生涯学習社会ネットワーク確立を図る・・・地域等との連携
 - ④創造性に富む対話力 = 実のある研修
- 3 目指す生徒像
 - ①自他の調和を図り、共生・共有する生徒（個性発信の能動性）
 - ②豊かな洞察力と判断力・実践力（知的感性）
 - ③国際的視点に立つ
- 4 心ある教師像
 - ①視野を広げ、柔軟性と豊かなビジョンを持つ教師
 - ②新しいものをクリエイティブしていく、チャレンジ精神の教師
 - ③生活指導のできる教師（生徒指導力につなげる）
 - ④事例即・我教師を育成することであり、教育実践の具現化として、「和願愛語一ひとこと対話」を目標に個性の発掘を行いました。

本校には国公私立の大学に進みたい者、スポーツに励みたい者、一芸に秀でた者、中学校の出席日数が少ない者、身体の障害のある者などいろんな生徒が学園で共に学んでいます。

そうしたなかで和願愛語一ひとこと対話を行い、生徒一人一人を大切にしています。

平成22年度は359名の卒業生を社会に送り出しました。卒業生の進路として、50%（181名）の生徒が進学しました。その内、38%（68名）が四年制大学に、26%（47名）が短大に、36%（66名）が専門学校に進学しました。

卒業生の内、40%（142名）の生徒が就職し、64%（91名）が県内に、36%（51名）が県外に就職しました。10%（36名）の卒業生は家事手伝などについています。

「進学先」

○四年生大学

広島大学、大分大学、鹿児島大学、明治大学、桜美林大学、帝京大学、佛教大学、阪南大学、

皇學館大学、東海大学、松蔭大学、徳山大学、創価大学、女子栄養大学、大阪産業大学、西南学院大学、国際武道大学、立命館アジア太平洋大学、環太平洋大学、久留米大学、福岡大学、九州産業大学、九州共立大学、九州女子大学、羽衣国際大学、福岡国際大学、日本経済大学、別府大学、九州国際大学、第一工業大学、九州保健福祉大学、九州看護福祉大学、崇城大学、尚絅大学、熊本学園大学。

○短期大学

中九州短期大学、福岡こども短期大学、大阪産業大学短期大学部、愛媛女子短期大学、熊本県立技術短期大学、純真短期大学。

○大学校

京都伝統工芸大学校、トヨタ名古屋自動車大学校。

○専門学校

福岡医療専門学校、福岡医療秘書福祉専門学校、福岡医健専門学校、九州環境福祉医療専門学校、九州中央リハビリテーション学院、大原公務員医療専門学校、熊本駅前看護リハビリテーション学院、熊本歯科技術専門学校、熊本総合医療リハビリテーション学院、近畿医療専門学校、九州スクールオブビジネス専門学校、大阪アニメーター学院、九州安達学園デザイナー学院、大原公務員専門学校、リゾートトラストホテルカレッジ、東京ビジュアルアーツ専門学校、JAPANサッカーカレッジ、熊本YMCA学院、総合学園ヒューマンアカデミー、壺恵塾、熊本工業専門学校、熊本職業訓練校、日本工学院八王子専門学校、九州工科自動車専門学校、麻生建築デザイン専門学校、熊本ベルエベル美容専門学校、八代実業専門学校、常磐学院専門学校、平岡栄養士専門学校。

「就職先」

○県内

ヤマハ熊本プロダクツ(株)、松木産業(株)、(資)MGS、横場工業(株)、(株)アジア食品、(株)エーブル、コバシ(株)、スキタ鉄工(株)、フィルテクノス(株)、(株)児湯食鳥、(有)旭製作所、熊本ユシ工業(株)、日本合成化学工業(株)、(有)高木商店、(株)肥後ダンボール、(有)白石鋼業、(有)フクミツ建装、(株)中野工務店、(株)向陽設備工業、(有)丸光工業、(株)イワサキ技研、(株)熊本機材、(株)碓山商事、(株)江川組、(有)昭和鉄筋、(株)アルデア、緒方木工建具店(株)、(株)新大阪屋、(株)シルバーバック、(有)ベルエア、(株)Lady Bird、ケアパーク(株)、八代市立病院、春野耳鼻咽喉科医院、みずたみ医院、(社)日岳会、(株)ラディカ、(株)シラサギ、特別養護老人ホーム康和苑、介護老人保健施設皇寿園、(社)白寿会、(社)八代学園、中央ゴルフ(株)、あつまるレークカントリークラブ、九州警備保障(株)、(株)キューネット、(有)苓北浄化槽管理センター、球磨村森林組合。

○県外

日本精工(株)、東海興業(株)、大東実業(株)、東日本旅客鉄道(株)、帝産観光バス(株)、愛知陸運(株)、(株)三平、三菱ふそうトラック・バス(株)、三菱自動車工業(株)、トヨタ自動車(株)、トヨタ車体(株)、トヨタ紡績(株)、日鉄鋼管(株)、(株)上組東海支店、東京ガス(株)、(株)きんでん、(株)ダイコー、(株)食道園、山崎パン(株)、飯島製本(株)、(株)三和ドック、(有)弘栄船舶電機、(株)アーバンリゾート、(株)にしけい、日本空港サービス(株)、佐川急便(株)、ティーポサービス(株)、(株)松本商店、(株)貴重企画、イルサローネ、(株)スクード、エヌエス・テック(株)、(株)デュエット、京楽観光(株)、(社)育心会、新生会第一病院。

「公務員」

熊本県警察、自衛隊(陸・海・空)

3. 財務の概要

各年度損益計算書

【高校】

(単位 千円)

科目	H18年	H19年	H20年	H21年	H22年
生徒数(人)	1,393	1,324	1,208	1,111	1,137
納付金収入	558,714	530,308	495,040	458,693	472,923
手数料収入	5,484	5,682	5,184	5,728	5,443
寄付金収入	0	496	1,000	2,848	586
補助金収入	324,596	310,209	293,800	290,451	365,982
資産運用収入	3,914	5,735	6,520	6,179	6,753
事業収入	148,903	160,859	156,370	166,404	173,463
雑収入	89,051	28,800	54,118	9,800	30,403
合計	1,130,662	1,042,089	1,012,032	940,103	1,055,553

人件費支出	498,581	419,687	440,891	376,578	401,360
教職員人件費	345,085	331,472	325,028	313,420	315,603
退職金	86,836	24,326	51,425	3,773	24,152
退職金掛金	30,870	29,170	28,655	27,150	27,621
所定福利費	35,790	34,719	35,783	32,235	33,984
教育経費支出	353,911	340,898	327,970	324,199	280,320
管理経費支出	158,213	183,952	165,206	168,314	173,184
支払利息支出	1,464	1,164	913	1,646	2,836
雑支出	8,527	15,016	5,599	18,581	10,900
剰余金	109,966	81,372	71,453	50,785	186,953
合計	1,130,662	1,042,089	1,012,032	940,103	1,055,553

【短大】

科目	H18年	H19年	H20年	H21年	H22年
生徒数(人)	278	263	248	262	273
納付金収入	266,252	250,385	230,764	236,631	249,031
手数料収入	4,990	4,918	4,723	5,120	4,456
寄付金収入	4,508	3,403	8,074	3,288	2,885
補助金収入	22,921	24,908	48,872	42,587	44,811
資産運用収入	1,057	2,485	3,127	2,721	3,353
事業収入	9,034	7,783	6,552	9,556	7,253
雑収入	19,102	1,815	23,935	11,480	7,092
合計	327,864	295,697	326,047	311,383	318,881

入学者数 147 116 125 127

人件費支出	179,889	171,257	190,973	174,098	273,538
教職員人件費	135,025	142,355	139,769	136,217	239,660
退職金	18,999	1,386	23,790	11,292	6,901
退職金掛金	12,392	13,313	13,177	12,697	12,978
所定福利費	13,473	14,203	14,237	13,892	13,999
教育経費支出	29,862	29,064	27,560	36,158	30,699
管理経費支出	29,900	28,249	26,918	35,575	28,443
支払利息支出	2,007	1,347	697	122	0
雑支出	1,903	8,626	2,486	6,703	3,014
剰余金	84,303	57,154	77,413	58,727	△ 16,813
合計	327,864	295,697	326,047	311,383	318,881

資金収支計算書

平成22年4月1日

平成23年3月31日

(単位 円)

収入の部			
科目	予算	決算	差額
学生生徒納付金収入	708,233,900	721,953,650	△ 13,719,750
手数料収入	8,831,630	9,899,630	△ 1,068,000
寄付金収入	3,055,000	3,085,268	△ 30,268
補助金収入	410,592,126	410,792,576	△ 200,450
国庫補助金収入	44,442,000	44,742,000	△ 300,000
地方公共団体補助金収入	366,150,126	366,050,576	99,550
資産運用収入	10,282,451	10,105,619	176,832
事業収入	139,040,400	180,715,675	△ 41,675,275
雑収入	31,587,626	32,220,737	△ 633,111
借入金等収入	250,000,000	250,000,000	0
前受金収入	98,593,750	117,628,750	△ 19,035,000
その他の収入	99,674,550	97,049,372	2,625,178
資金収入調整勘定	△ 227,474,034	△ 230,774,994	3,300,960
前年度繰越支払資金	2,393,591,167	2,393,591,167	0
収入の部合計	3,926,008,566	3,996,267,450	△ 70,258,884

支出の部			
科目	予算	決算	差額
人件費支出	574,089,233	565,887,061	8,202,172
教育研究経費支出	338,114,448	310,947,172	27,167,276
管理経費支出	201,547,528	189,262,752	12,284,776
借入金等利息支出	2,836,125	2,836,125	0
借入金等返済支出	50,045,000	50,045,000	0
施設関係支出	546,047,127	544,489,249	1,557,878
設備関係支出	6,000,000	3,794,720	2,205,280
その他の支出	97,358,996	104,496,266	△ 7,137,270
予備費	8,754,434	0	8,754,434
資金支出調整勘定	△ 52,246,603	△ 64,212,343	11,965,740
次年度繰越支払資金	2,153,462,278	2,288,721,448	△ 135,259,170
支出の部合計	3,926,008,566	3,996,267,450	△ 70,258,884

資金収支計算書は、当該会計年度の諸活動に対応するすべての収入及び支出の内容並びに当該年度における支払資金の収入及び支出の顛末を明らかにしたものです。

(1) 資金収支計算書 : 収入の部

当年度収入合計が予算比7,030万円増の160,268万円となり、前年度繰越支払資金を加えた収入の部合計では、399,627万円。前年度比では、34,926万円増となっています。これは、施設設備整備等のため、25,000万円の借入金収入増になったことによります。

(2) 資金収支計算書 : 支出の部

当年度支出合計が予算比7,030万円増の170,755万円。施設関係支出(施設設備整備等)の54,490万円増に伴い、次年度繰越支払資金は、翌年度の収入となる前受金収入を含み228,872万円となり、前年度比では10,487万円の減となっています。

消費収支計算書

平成22年4月1日

平成23年3月31日

(単位 円)

消費収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 額
学生生徒納付金	708,233,900	721,953,650	△ 13,719,750
手数料	8,831,630	9,899,630	△ 1,068,000
寄付金	3,441,400	3,471,668	△ 30,268
補助金	410,592,126	410,792,576	△ 200,450
国庫補助金	44,442,000	44,742,000	△ 300,000
地方公共団体補助金	366,150,126	366,050,576	99,550
資産運用	10,282,451	10,105,619	176,832
事業収入	139,040,400	180,715,675	△ 41,675,275
雑収入	34,280,796	37,495,187	△ 633,111
帰属収入合計	1,314,702,703	1,374,434,005	△ 59,731,302
基本金組入額合計	△ 562,196,709	△ 373,435,369	△ 188,761,340
消費収入の部合計	752,505,994	1,000,998,636	△ 248,492,642

消費支出の部			
科 目	予 算	決 算	差 額
人件費	574,089,233	674,898,430	△ 100,809,197
教育研究経費	377,821,297	347,607,835	30,213,462
管理経費	211,569,736	212,910,845	△ 1,341,109
借入金等利息	2,836,125	2,836,125	0
資産処分差額	212,176	13,344	198,832
徴収不能額	8,527,845	2,757,845	5,770,000
徴収不能引当金繰入額	5,492,500	11,143,111	△ 5,650,611
予備費	5,356,679		5,356,679
消費支出の部合計	1,185,905,591	1,252,167,535	△ 66,261,944
当年度消費支出超過額	433,399,597	251,168,899	
前年度繰越消費支出超過額	704,633,088	704,633,088	
基本金取崩額	0	322,300	△ 322,300
翌年度繰越消費収入超過額	271,233,491	453,786,489	

消費収支計算書は、当該会計年度の消費収入及び消費支出の内容及び均衡の状態を明らかにするためのものです。学校法人は、営利企業とは異なり、教育・研究が目的ですので、剰余金が多いほど良いというものではなく、長期にわたって収支の均衡をとることが求められています。

(1)消費収支計算書：消費収入の部

帰属収入合計(学校法人の負債とされない収入)が予算比5,973万円増の137,443万円(前年度比12,295万円増)となり、基本金組入額合計が、予算比18,876万円減の37,344万円(前年度比12,429万円増)となり、消費収入の部合計は予算比24,849万円増の100,100万円(前年度比23,124万円減)となりました。

(2)消費収支計算書：消費支出の部

消費支出の部合計が予算比6,626万円増の125,217万円(前年度比5,160万円増)。

(3)消費収支計算書：当年度消費収支差額は25,217万円の消費支出超過(前年度は3,166万円の消費収入超過)で翌年度繰越消費収入超過額は45,379万円となりました。

貸借対照表

平成23年3月31日

(単位 円)

資産の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定資産	(2,422,090,900)	(1,932,511,310)	(489,579,590)
有形固定資産	< 2,405,815,906 >	< 1,916,236,316 >	< 489,579,590 >
土地	582,221,473	490,598,355	91,623,118
建物	1,279,133,947	1,179,426,751	99,707,196
その他の有形固定資産	544,460,486	246,211,210	298,249,276
その他の固定資産	< 16,274,994 >	< 16,274,994 >	< 0 >
流動資産	(2,429,731,327)	(2,484,082,752)	(-54,351,425)
現金預金	2,288,721,448	2,393,591,167	-104,869,719
その他の流動資産	141,009,879	90,491,585	50,518,294
資産の部合計	4,851,822,227	4,416,594,062	435,228,165

負債の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定負債	(320,526,369)	(95,000,000)	(225,526,369)
長期借入金	211,515,000	95,000,000	116,515,000
退職給与引当金	109,011,369	0	109,011,369
流動負債	(265,083,813)	(177,648,487)	(87,435,326)
短期借入金	98,440,000	15,000,000	83,440,000
その他の流動負債	166,643,813	162,648,487	3,995,326
負債の部合計	585,610,182	272,648,487	312,961,695

基本金の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
第1号基本金	3,719,425,556	3,346,312,487	373,113,069
第4号基本金	93,000,000	93,000,000	0
基本金の部合計	3,812,425,556	3,439,312,487	373,113,069

消費収支差額の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
翌年度繰越消費収入超過額	453,786,489	704,633,088	-250,846,599
消費収支差額の部合計	453,786,489	704,633,088	-250,846,599

科 目	本年度末	前年度末	増 減
負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計	4,851,822,227	4,416,594,062	435,228,165

貸借対照表は、平成23年3月31日現在の資産、負債、基本金等の状況を前年度末と対比させて表示しています。

(1)資産の部

施設投資(土地購入、サッカーグラウンド整地・整備、太陽光発電施設整備、耐震補強工事、書庫建設)を行ったため、前年度より43,523万円増加した。

(2)負債の部

施設整備にともない市中銀行より借入れを行った。また、会計基準の改定により退職給与引当金を計上したため、前年度より31,296万円増加した。

(3)基本の部

施設投資をしたため、第一号基本金は前年度より37,311万円増加した。

(4)消費収支差額の部

第一号基本金への基本金組入(37,311万円)と人件費支出へ退職給与引当金(10,901万円)を計上したため、当年度消費支出超過額(25,117万円)になりました。その結果、翌年度消費収入超過額が減少しました。

◎主要財務比率

比率		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
人件費比率	$\frac{\text{人件費}}{\text{帰属収入}}$	47%	44%	47%	44%	49%
人件費依存率	$\frac{\text{人件費}}{\text{学生生徒等納付金}}$	82%	76%	87%	79%	93%
教育研究経費比率	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{帰属収入}}$	29%	31%	29%	32%	25%
管理経費比率	$\frac{\text{管理経費}}{\text{帰属収入}}$	14%	17%	15%	17%	15%
帰属収支差額比率	$\frac{\text{帰属収入} - \text{消費支出}}{\text{帰属収入}}$	10%	7%	8%	4%	9%

財 産 目 録

平成22年3月31日

I 資産総額	4,851,822,227 円
内 基本財産	2,422,090,900 円
運用財産	2,429,731,327 円
収益事業用財産	0 円
II 負債総額	585,610,182 円
III 正味財産	4,266,212,045 円

区 分	金 額
資産額	
1 基本財産	
土地	80,158.71 m ² 582,221,473 円
建物	24,834.00 m ² 1,279,133,947 円
図書	61,676 冊 129,410,445 円
教具・校具・備品	415,050,041 円
その他	16,274,994 円
2 運用財産	
現金預金	2,288,721,448 円
その他	141,009,879 円
3 収益事業用財産	0 円
資 産 総 額	4,851,822,227 円
負債額	
1 固定負債	
長期借入金	211,515,000
その他	109,011,369
2 流動負債	
短期借入金	98,440,000
その他	166,643,813
負 債 総 額	585,610,182
正味財産(資産総額－負債総額)	4,266,212,045

学校法人会計基準の基本

学校法人が学校経営を行う目的は、教育・研究を推進することで、人材を育成するとともに研究活動の成果を社会に還元することです。そのため 学校法人会計の基本的な考え方は、企業の会計原則と変わりありませんが、企業会計が損益を重視するのに対して、「計算書類」によって教育活動が円滑に行えるか否かを知ることにあります。

国や地方公共団体から補助金を交付される学校法人は「学校法人会計基準」に従って会計処理を行い「資金収支計算書」「消費収支計算書」「貸借対照表」の各種計算書類の作成が義務づけられています。

資金収支計算書

毎会計年度、当該会計年度の諸活動に対応するすべての収入及び支出の内容並びに当該会計年度における支払資金の収入及び支出のてん末を明らかにするものです。

消費収支計算書

当該年度の消費収支の内容と状況を示すことにより学校法人の経営状況を表しています。法人に帰属する負債にならない収入と、資産・借入金の返済・積立金など資本的支出にあてるものを除いた支出を計上します。また、収入からは学校法人を継続的に運営していくための、教育に必要な資産を保持するための金額である基本金を除いた収入を表示しています。

貸借対照表

当該年度末における資産・負債・基本金および収支差額を示しており財務状況の健全性を表すものです。

学校法人会計の原則

学校法人会計は次の四つの原則により行われており、学校法人の経理の適正化や合理化を図るため、公認会計士又は監査法人による監査制度が導入されています。

- 1.財政及び経営の状況について、真実な内容を表示すること。
- 2.すべての取引について、複式簿記の原則によって、正確な会計帳簿を作成すること。
- 3.財政及び経営の状況を正確に判断することができるように、必要な会計事実を明りょうに表示すること。
- 4.採用する会計処理の原則及び手続き並びに計算書類の表示方法については、毎会計年度継続して適用し、みだりにこれを変更しないこと。

学校会計と企業会計との違いについて

学校法人も企業も経済活動を営んでいる点では同じですが、その事業目的に大きな違いがあります。企業は経済活動そのもの、利益追求を目的としていますが、学校法人は教育・研究活動を目的としています。ただし、経済活動が目的でなくても、教育研究活動を行う手段として経済活動も営む必要があります。学校法人の財政構造は、企業のように「モノ」を生産・販売し、利潤を獲得するといった生産経済体とは異なり、支出の増加に対して収入の増加を図ることが難しい非弾力的な構造を持つ消費経済体です。学校法人の収入の7割強が、自由に増額することが難しい学生生徒等からの入学金や授業料や国や地方公共団体からの補助金で構成されており、教育・研究発展のための支出を削減することは難しいことが特徴です。

経済面から企業の役割と学校法人の役割では、委託責任機能、管理機能ではその対象、方法に違いはあるものの同じといえますが、学校法人には利益測定機能はありませんが、学校を存続させるための収支バランスの状況測定は必要であり、消費収支計算書がその役割を果たしています。

収益の獲得を目的としない学校法人の会計には、損益の計算という目的はありません。企業会計との基本的体系の違いとしては、企業会計にはない「資金収支計算書」の存在です。また、教育という公益性の強い事業を行う法人のため、その永続性を重視したことから基本金という概念が導入されています。

学校法人の会計年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わりますが、この会計年度ごとに、「資金収支計算書」、「消費収支計算書」、「貸借対照表」などの計算書類を作成しなければなりません。また、資産と負債の内容を明らかにする「財産目録」を作成する必要もあります。

学校法人会計と企業会計の目的や作成する計算書類等の相違点は以下のとおりです。

	学校法人会計	企業会計
事業目的	教育・研究活動	利潤獲得のための経済活動
会計処理のルール	学校法人会計基準	企業会計原則
財政構造	消費経済体	生産経済体
作成書類	資金収支計算書	キャッシュフロー計算書
	消費収支計算書	損益計算書
	貸借対照表	貸借対照表

平成23年5月27日

学校法人 八商学園

理事長 中川 静也 殿

学校法人 八商学園

監事 坂口 浩昭 ㊞

監事 山本 雅之 ㊞

監査報告書

私たちは、学校法人八商学園の監事として、私立学校法第37条第4項に基づいて同学園の平成22年度（平成22年4月1日から平成23年3月31日まで）における計算書類（資金収支計算書、消費収支計算書、貸借対照表並びに付属明細表）及び理事の業務執行状況について監査を行いました。

監査の結果、私たちは上記の計算書類は学校法人会計基準（文部省令第18号）に準拠しており学校法人八商学園の平成23年3月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する会計年度の経営状況を適正に表示しているものと認めました。

また、理事の業務執行状況に関する不正の行為、または法令もしくは寄附行為に違反する事実のないことを確認いたしました。

独立監査人の監査報告書

平成23年6月1日

学校法人 八商学園
理事会 御中

大同監査法人
業務執行社員 公認会計士 氏森 昌孝 ㊞

当監査法人は、私立学校振興助成法第14条第3項の規定に基づく監査報告を行うため、昭和51年7月13日付文部大臣告示第135号に基づき、学校法人八商学園の平成22年度（平成22年4月1日から平成23年3月31日まで）の計算書類、すなわち、資金収支計算書（人件費支出内訳表を含む。）、消費収支計算書及び貸借対照表（固定資産明細表、借入金明細表及び基本金明細表を含む。）について監査を行った。この計算書類の作成責任は理事者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から計算書類に対する意見を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に計算書類に重要な虚偽の表示がないかどうかの合理的な保証を得ることを求めている。監査は、試査を基礎として行われ、理事者が採用した会計方針及びその適用方法並びに理事者によって行われた見積もりの評価も含め全体としての計算書類の表示を検討することを含んでいる。当監査法人は、監査の結果として意見表明のための合理的な基礎を得たと判断している。

当監査法人は、上記の計算書類が、学校法人会計基準（昭和46年文部大臣省令第18号）に準拠して、学校法人八商学園の平成23年3月31日をもって終了する会計年度の経営の状況及び同日現在の財政状態をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

追記情報

注記事項会計処理の変更として記載されているとおり、当年度より期末要支給額の100%を基にして計上する方法に変更した。

学校法人と当監査法人の間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上